

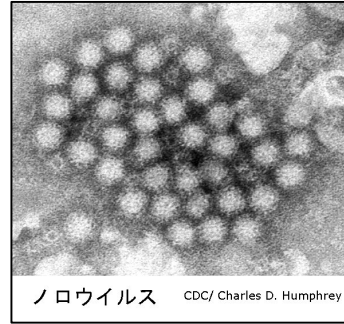
山口県感染症発生週報

(第48週:平成24年11月26日～12月2日)

1 全数把握感染症

【2類感染症】

◆結核: 第44週追加:1例(岩国)。第46週追加:1例(周南)。第47週追加:1例(岩国)。第48週:1例(下関)。



ノロウイルス CDC/ Charles D. Humphrey

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

◆インフルエンザ: 岩国から1例、宇部から2例報告がありました。迅速検査では、A型2例、陰性1例でした。また当所で、第46週と第47週の検体についてPCR検査を行った結果、AH3(香港型)が2例検出されています。

◆RSウイルス感染症: 例年冬期に流行がみられますが、今年はかなり早い時期から流行しています。第38週(9/17～9/23)をピークに減少し、今週は例年と同程度の報告数となりました。流行が続いていますので、乳幼児を中心に引き続き注意が必要です。

◆咽頭結膜熱: 例年の同時期と比較するとやや多い状況です。長門は警報レベルとなりました。

【警報レベル=長門(新)】※

◆A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 例年の同時期と比較して多い状況です。【警報レベル=山口(9週目)】※

◆感染性胃腸炎: 第45週(11/5～11/11)以降急増しています。長門、周南に続き今週山口も警報レベルとなり、県内のほぼ全域で流行しています。冬季はウイルスを原因とした感染性胃腸炎が流行しやすいので、注意が必要です。【警報レベル=長門(3週目)、周南(2週目)、山口(新)】※

◆水痘: 第44週(10/29～11/4)以降急増しています。長門、柳井は今週注意報レベルとなりました。12月から7月にかけて多くみられる疾患です。注意が必要です。

【注意報レベル=長門(新)、柳井(新)】※

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuiho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	46週	47週	48週	疾患名	46週	47週	48週
インフルエンザ	2	0	3	百日咳	0	1	0
RSウイルス感染症	95	80	72	ヘルパンギーナ	12	12	6
咽頭結膜熱	7	16	27	流行性耳下腺炎	9	5	13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	209	160	201	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	529	649	886	流行性角結膜炎	4	0	2
水痘	72	88	123	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	4	2	3	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	1	4	5	マイコプラズマ肺炎	2	5	7
突発性発しん	41	37	36	無菌性髄膜炎	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	1	0	0	0	0	2	0	0	3
RSウイルス感染症	19	11	0	7	2	5	14	12	2	72
咽頭結膜熱	10	3	0	4	1	1	0	8	0	27
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	54	15	0	39	1	59	23	5	5	201
感染性胃腸炎	144	78	15	241	24	110	171	75	28	886
水痘	33	6	19	14	7	17	13	13	1	123
手足口病	2	0	0	0	1	0	0	0	0	3
伝染性紅斑	0	0	0	2	1	0	1	0	1	5
突発性発しん	9	4	2	6	1	4	8	2	0	36
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	4	0	0	0	0	1	1	0	0	6
流行性耳下腺炎	0	0	4	6	1	2	0	0	0	13
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	5	0	2	0	0	0	0	0	7
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0